

# 高潮対策

## 高潮とは

高潮警報、暴風警報又は暴風特別警報などが発表された場合など台風や発達した低気圧が通過するとき等、海面が大きく上昇することがあり、これを「高潮」といいます。

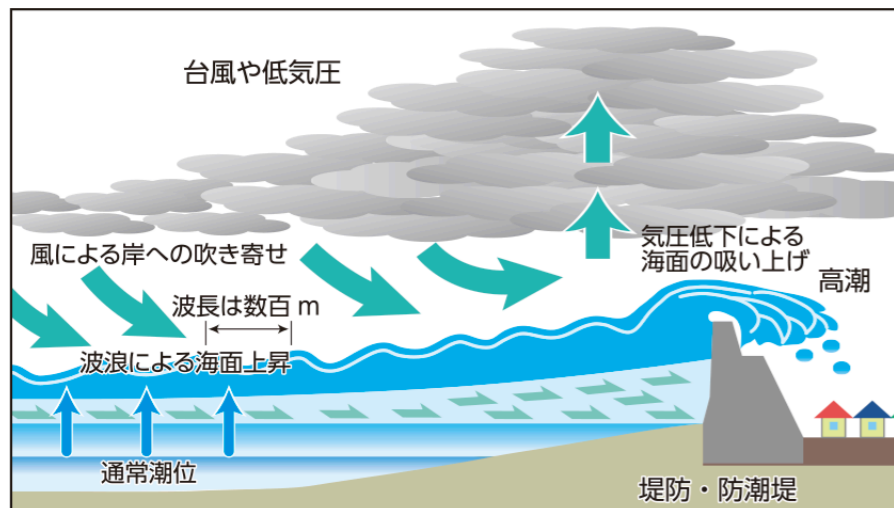
この「高潮」に伴い浸水害等の災害のおそれがあると予想された場合、「高潮注意報」または「高潮警報」が発表されます。

### ▼潮位情報

観測局名	地域	注意報基準値 (T.P.m)	警報基準値 (T.P.m)
竹原港	東広島・竹原	2.2m	2.7m

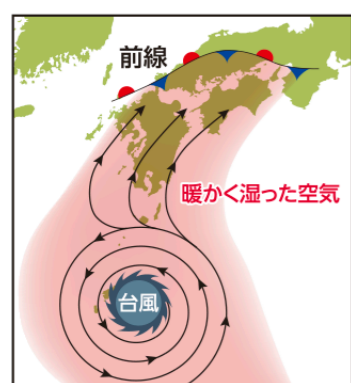
※平成16年8月の台風16号による竹原港の最高潮位はT.P.2.8mを記録しました。  
※T.P.は、東京湾平均海面からの高さであり、標高、海拔と同じ

## 高潮発生3つの要因



- ①気圧低下による海面の吸い上げ**  
台風や低気圧の中心気圧は周囲より低いため、中心付近の空気が海面を吸い上げる結果、海面が上昇します。(気圧が1hPa下がると海面が約1cm上昇)
- ②風による岸への吹き寄せ**  
台風による強い風が海岸に向かって吹くと、海水は海岸に吹き寄せられて、海岸付近の海面が異常に上昇します。
- ③波浪による海面上昇**  
大きな波が海岸に向かって絶え間なく押し寄せると、沖に急速に戻ることができず、岸に近い場所に多量の海水がたまるようになり、海面が上昇します。波が大きいほど、海面の上昇も大きくなります。

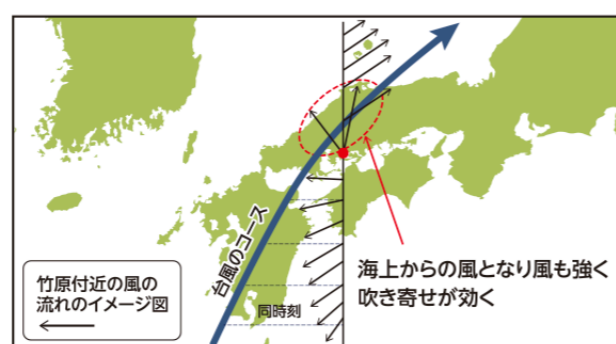
## ◆台風と前線による大雨 (竹原市で特に警戒が必要なタイプ)



図のように西日本に前線が停滞しているような場合、南海上を台風が通過していくと、台風周辺から暖かく湿った空気が前線に流れ込み、前線の活動が活発となります。

台風が離れていても大雨警報級の雨となる場合があるので大雨に特に警戒が必要です。

## ◆竹原市で特に高潮が高くなりやすいコース



台風の通過と満潮時刻が重なるときはさらに要警戒

## ◆高潮に対して危険なところ

- 海拔ゼロメートル地帯  
ゼロメートル地帯では、高潮による浸水被害を被る危険性が高くなります。
- 湾奥部  
海水が湾外へと逃げにくいので、湾内の水位が上がります。
- 自然地形(V字谷などの山地)  
波の集中が起こりやすく、局所的に水位が上がります。
- 自然地形(急深な海底地形)  
波が海岸部で急激に高くなります。
- 自然地形(河口部)  
高潮と洪水の両方の危険が重なります。

## ◆竹原市の防災対策事業

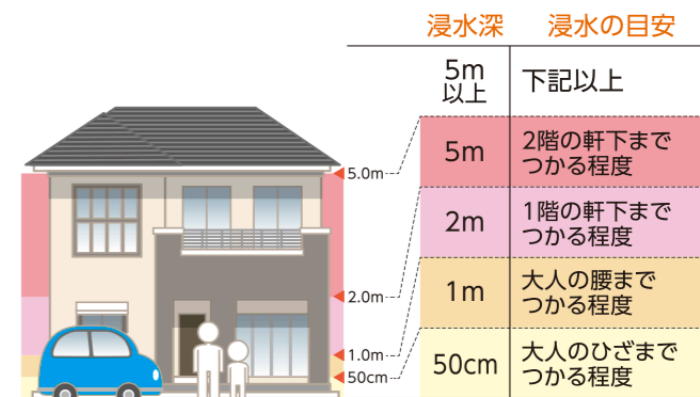


防潮水門(本川水系高潮対策)

## ◆高潮浸水想定区域とは

過去の観測実績により選定した波浪(30年間で1回起こりうる最大風速で発生した波浪規模)が既往最高潮位(観測上最も高い潮位)と重なった場合を想定し、高潮による浸水が発生した場合の浸水区域と浸水深を、広島県が高潮浸水想定図として公表したものです。

- ※ 想定を超える台風の来襲や高潮堤防等施設の破損、土地の盛土等により浸水する区域は変化します。
- ※ 地図で着色されていない場所でも、越波や配水管からの逆流、河川の氾濫、雨水・内水により浸水が発生するおそれもありますので注意が必要です。



## ◆平成16年の台風16号・18号による高潮浸水実績



## ◆高潮ハザードマップ(浸水想定図)で自分の身の回りにある浸水想定区域と浸水深を確認しておきましょう。

